

# 都市再生整備計画(第4回変更)

ひたちだいごえきしゅうへん  
常陸大子駅周辺地区

いばらき だいごまち  
茨城県 大子町

令和5年9月

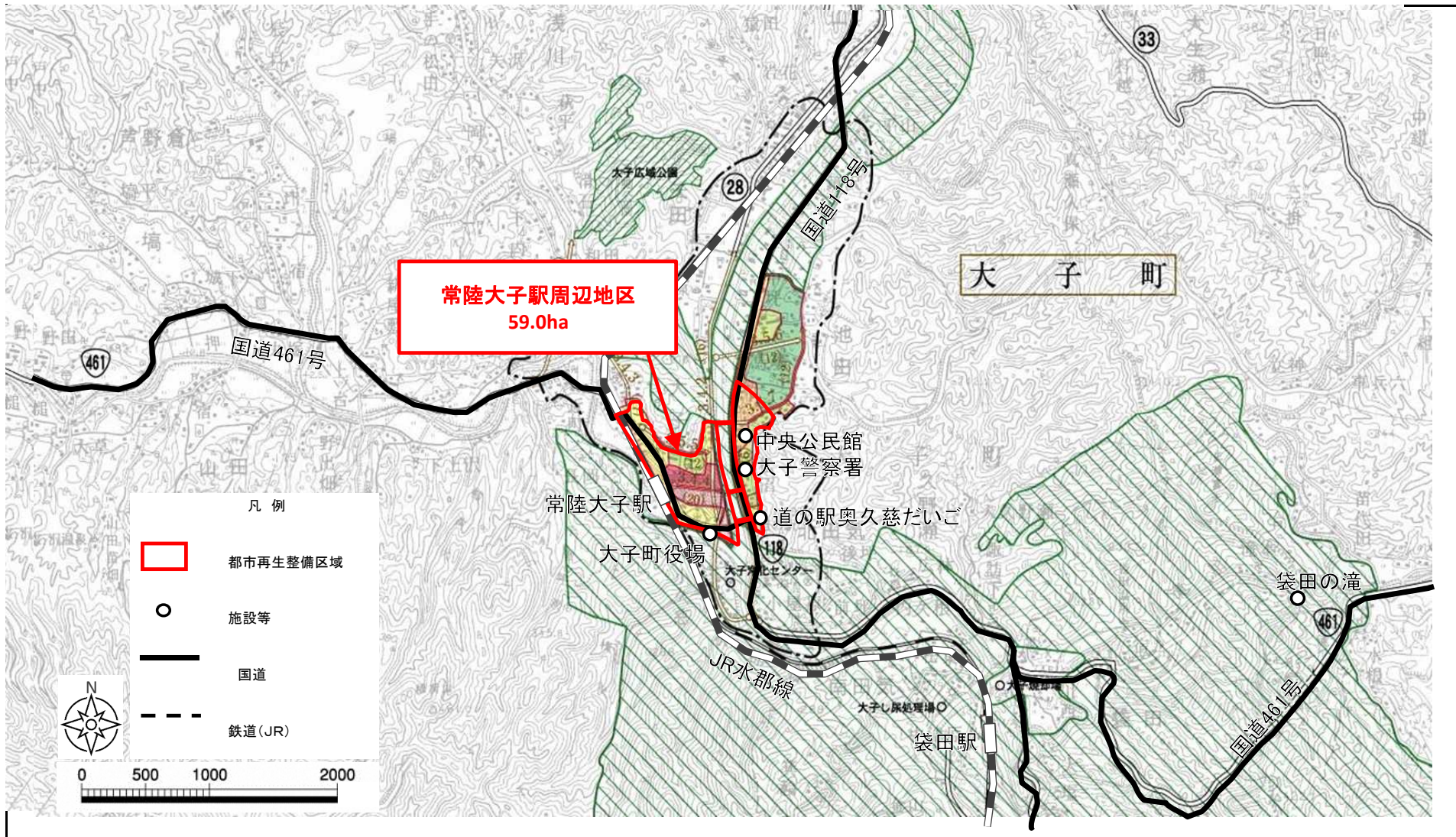
事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>



計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●地域資源を効果的に活用し、町民と来訪客が交流できる施設等の整備による拠点の形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する文化福祉会館「まいん」の補完的機能を有し、交流スペースの拡充や地元特産品を飾る展示ブース、コワーキングが可能な多目的スペースの整備など、多様な役割を兼ね備えた施設を整備することで、既存施設との相乗効果を図るものとする。</li> <li>・庁舎建設地移転に伴い、現庁舎等が位置する跡地の利活用が求められることから、町民と来訪客が交流(滞留)できる公園・イベント広場を整備することで、賑わい創出を図る。また、広場の一部に2020年東京オリンピックで公式競技として採用されたスケートボード用の専用広場を設け若者などがつどえる場をつくる。</li> <li>・防災対応型の施設を整備することで災害時の活動拠点となり、観光交流機能を持たせることにより平時における施設の有効活用を図る。</li> <li>・市街地には空き地(遊休地)・空き家等が点在し、放置されていることでまちなか全体の活力低下を招いているため、それらを地域資源として、町民と来訪客が交流(滞留)できる広場の利活用や利便施設に転換するなど、賑わい創出につながる拠点やそれらを繋ぐ結節点として活用促進を図る。</li> <li>・中心市街地には、林業で栄えたまちの歴史を偲ばせる板倉の建築物が多く存在し、この風情あるレトロな景観を活かしたまちづくりが考えられることから、修景整備に関する事業者支援などを推進し、大子らしいまちなみ景観を創造する。</li> <li>・道の駅奥久慈だいごから大子地蔵尊までの回遊路を整備するほか、町民と来訪客が交流(滞留)できる多目的広場を整備することで、賑わい創出を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>高次都市施設: 交流拠点整備                  地域生活基盤施設: 公園・イベント広場整備                  高次都市施設: (仮称)観光交流施設整備                  地域生活基盤施設: 道の駅脇回遊路及び多目的広場整備</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業: まちなか空き地活用事業                  地域創造支援事業: 空き家・空き店舗活用事業                  地域創造支援事業: レトロな街並み支援事業</p>
<p>●まちなかの回遊性の向上と、景観や安全に配慮した道路環境の整備による空間形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車道を排水性舗装に打ち替えることで車両通行時の水はね防止と騒音防止を図るとともに、歩道をカラー舗装にすることで歩行帯を明確にし、高齢者を始めとする住民やまちなか観光における歩行者の安全性の確保と、歩行者優先道路等の高質化による快適性の向上を図る。</li> <li>・大子のまちなかには奥ゆかしい路地が多数あり、歩いて楽しめる観光資源として、路地景観を活かした回遊散策路を整備する。</li> <li>・回遊しやすい環境の整備として、景観に配慮した案内板や道標などの誘導サインを新設・更新する。</li> <li>・夜間における歩行者の安全な通行を図るため、街灯を整備する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業高質空間形成施設: 町道2511号線整備                  道路事業高質空間形成施設: 町道2515号線整備                  高質空間形成施設: まちなか回遊散策路整備                  地域生活基盤施設: 誘導サイン新設・更新事業                  高質空間形成施設: 街灯整備</p>
<p>●防災性を考慮し、町民が安心して快適に暮らせる居住環境の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対応型の施設を整備することで災害時の活動拠点となる。</li> <li>・水災害リスクへの対応を含め、安心安全な都市形成の推進が重要視されているため、排水処理施設等の整備を図る。</li> <li>・大子のまちなかには路地が多数あり、災害時の避難路としても役立つため、まちなか回遊散策路を整備する。</li> <li>・夜間における防犯の抑制を図るため、街灯を整備する。</li> <li>・コンパクトシティを実現していくため、立地適正化計画を策定する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>高次都市施設: (仮称)観光交流施設整備                  地域生活基盤施設: 排水処理施設整備                  高質空間形成施設: まちなか回遊散策路整備                  高質空間形成施設: 街灯整備</p> <p>【提案事業】</p> <p>事業活用調査: 立地適正化計画策定</p>
<p>その他</p>	



常陸大子駅周辺地区(茨城県大子町)	面積	59.0 ha	区域	大字大子及び池田の一部
-------------------	----	---------	----	-------------





常陸大子駅周辺地区(茨城県大子町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	大目標 賑わいあふれる中心市街地の活性化と安全で快適なまちづくり 小目標①地域資源を効果的に活用し、町民と来訪客が交流できる施設等の整備による拠点の形成を図る。 小目標②まちなかの回遊性の向上と、景観や安全に配慮した道路環境の整備による空間形成を図る。 小目標③防災性を考慮し、町民が安心して快適に暮らせる居住環境の整備を図る。	代表的な指標	中心市街地における交流人口 (人/年)	200,000人/年 (R1年度)	→	200,000人/年 (R7年度)
			空き家・空き店舗の活用数 (件)	1件 (R1年度)	→	2件 (R7年度)
			防災対策に関する満足度 (%)	20% (R2年度)	→	70% (R7年度)

